

平成29年度第1回広島県動物愛護管理推進協議会議事概要

平成29年7月6日開催

1 動物愛護管理業務のあり方に係る検討について

事務局から、今後の動物愛護管理のあり方に係る検討方針について説明し、了承された。

なお、委員から次の意見があった。

○目指す姿で示したとおり、「動物愛護」と「適正飼養」の考え方を県民に浸透させるためには、地道な動物愛護教育を続けていかなければならない。

2 犬猫の殺処分頭数削減に向けたこれまでの取組及び今後の取組例について

事務局から、犬猫の殺処分頭数に向けたこれまでの取組及び今後の取組例について説明した。

3 検討すべき新たな取組例について

事務局から、検討すべき新たな取組例について、それぞれのメリット・デメリットを説明し、協議した。

協議結果は、別紙のとおり。

項目	検討事項	意見	
1 收容頭数削減対策	野良犬猫	<input type="checkbox"/> マイクロチップ装着の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・助成のあり方も含め、マイクロチップの装着を進める方向で検討すべき。 ・義務化については、国での検討結果を待ってもよいのではないか。
		<input type="checkbox"/> 猫の登録制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・猫の登録制度を導入するよりは、まずはマイクロチップ装着を進めていくべき。
		<input type="checkbox"/> 野良猫 TNR の推進 <input type="checkbox"/> 飼犬猫の不妊去勢手術の促進強化	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊去勢手術は絶対に効果があると考えられるので、できることは行うべき。 （野生動物では子の出生生育率が全体の生息数に影響することが明らかになっている） ・TNRを行う場合には、その地域で一斉に実施しないと効果が少ない。 ・飼い主のいない猫対策については、猫の管理まで含めた地域猫活動が好ましい。 ・不妊去勢手術の助成制度を設けることにより、手術の実施率が高くなっているとの印象があり、助成制度が不妊去勢手術を受けるきっかけになっている可能性がある。（呉市）
		<input type="checkbox"/> 無責任なエサやり対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人間社会において迷惑がないということが大前提であり、対策は行うべき。 ・規制をしても必ずエサやりを続ける者がいると思われる。 ・地域猫活動などで、地域の中で解決していくのが一番良い。 ・規制ではなく、不妊去勢手術や糞尿の始末を行うなど、無責任ではないエサやりに変えていくような啓発を行っていくのがよい。
	<input type="checkbox"/> 遺棄等に対する罰則強化	<ul style="list-style-type: none"> ・罰則強化については、法への上乗せ規定になる場合は難しい 	
	飼犬猫	<input type="checkbox"/> 引取手数料の引き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づき引取拒否が可能となり、引取依頼があった場合の窓口指導が非常に効果的なものとなっている。 ・現在引取っているのは真にやむを得ない場合であり、手数料増額による効果は期待できない。
		<input type="checkbox"/> 多頭飼育者の届出制度	<ul style="list-style-type: none"> ・届出を義務化することにより、一定の効果があると思われる。 ・義務化しても、抑止力にならない可能性もある。 ・多頭飼育の定義について検討した上で、多頭飼育による問題が、どの程度、どの地区で起こっているか等の情報を基に、規制の要否を決定すべき。
2 返還譲渡促進	<input type="checkbox"/> 收容した犬猫の健康管理・感染症予防の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・返還譲渡の促進及び動物愛護の観点から、收容犬猫の健康管理と感染症予防は非常に重要である。 ・動物愛護センターでは、感染症予防対策として、ワクチン接種や施設の薬剤消毒・熱湯消毒など、大変な努力をしているが、感染症対策のために動物を隔離する施設がないなど、ハード面での問題がある。 ・感染症対策を含めた健康管理について、適切に行えるよう、施設整備が必要である。 	
	<input type="checkbox"/> ミルクボランティア制度	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳前の犬猫は登録団体に譲渡している。（福山市） 	
	<input type="checkbox"/> 譲渡犬猫の不妊去勢手術実施	<ul style="list-style-type: none"> ・吸入麻酔の設備の整備を含めて、実施する方向で考えるべき。 	
	<input type="checkbox"/> 譲渡場所の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・安易な譲渡でなく、終生飼養・適正飼養の普及啓発ができる状態で譲渡すべきであり、センターでの譲渡の方が好ましいのではないか。 	
	<input type="checkbox"/> 譲渡動物の効果的な展示	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡用の展示施設を充実させ、譲渡のための展示施設ではなく、興味のない人でも、居心地の良い、動物とのふれあいのできるような施設にすべき。 ・現状の施設では困難なので、施設改修が必要と思われる。 	
3 動物愛護教育	<input type="checkbox"/> 登録団体等の範囲拡大（ペットショップ等） <input type="checkbox"/> 登録団体等への補助金交付 <input type="checkbox"/> 団体等が行う譲渡会情報をHPに掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体から、一般家庭への譲渡が促進されるような取り組みを積極的に進めるべき。 	
	<input type="checkbox"/> ボランティアとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護教育は、動物愛護の基本であり、強化する必要がある。 	
	<input type="checkbox"/> 講習会等の受講対象の拡大（ペットショップ等との連携）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している飼育講習会は動物愛護センターで譲渡を受けた者の受講がほとんどであるが、ペットショップ等で犬猫の購入を検討している者などの受講も受け入れている。 	
	<input type="checkbox"/> 動物に興味のない者への動物愛護教育の実施		